

藤沢にある浮世絵のひみつがまるわかり!!! 今回のテーマは「描かれた江戸のくらし」!

なんの場面を 表しているのかな

絵をじっくりと見てみて!

器に入っている食べ物を
食べているのかな?



なんだろう?

オニカゲくんと一緒に
みんなも考えてみよう!



第6号 うきよえ 浮世絵しんぶん

江戸っ子のモテ条件!

それは、歯の白さ!?

オニカゲくんの予想は惜しかったなあ! 食事ではなくて、歯みがきが正解でした!

江戸時代の歯みがきは、一日に一回。朝起きた時にみがく習慣だったので、この絵には、朝を連想させるスズメも描かれているよ。

江戸時代の終わりから明治時代の始め頃になると、虫歯予防のために歯をみがくという知識も広まって、食後も歯をみがくようになったんだ。

では、なぜ江戸っ子は歯をみがいていたのかといえば、ズバリ! 歯が白いほうがモテたから。健康よりも、見た目をカッコよく見せるために、みがいていたというわけ!

ひみつは江戸っ子の生活にアリ

この女性が使う歯ブラシは「房楊枝」といい、小枝のはしっこを煮て、たたいて柔らかくし、木の繊維をほぐして作られたもの。ちなみに、歯みがき粉もいろんな種類が売られていて、砂やくだいた貝、塩が使われていたよ。

この絵の女性が持つ器には水が入っているね。これは、うがいをするための水で、右腕の下にある桶にゆすいだ水を捨てていたよ。肩には顔をふく手ぬぐいをかけているね。つまり、朝の身だしなみを整えている瞬間をとらえた浮世絵ということなんだ!

この絵を描いた人 歌川国芳
この絵の名前 「東海道五十三對 石部」